

会報

みらい

目次

- p.1 ・各種大会結果報告
ローリングバレーボール大会／ステージ発表
卓上競技大会
- p.2 ・各種大会結果報告 作品展示・販売
・「対人援助職に求められるバウンダリー」
研究研修委員会

発行人：神奈川県身体障害施設協会 代表者：柴田 和生 編集：広報委員 印刷：アテイン



各種大会結果報告

ローリングバレーボール大会

開催日：令和1年9月28日（土） 場所：スカイアリーナ座間

節目となる第30回大会が開催されました。今年度も多くの方のご協力の下、県内の施設及びクラブチームから13チームが参加し、A～Bブロックに分かれて熱戦を繰り広げました。

尚、結果は下表の通りです。

体育委員会委員長 アガペ壱番館 元田 勲



	Aブロック	Bブロック
優勝	にこにこ会 ツルミ (リハビリテーションスポーツクラブにこにこ会)	KENSEI BOMBERS(県西福祉センター)
準優勝	にこにこ会 ブルー (リハビリテーションスポーツクラブにこにこ会)	ベルソーレ平塚 (ソーレ平塚)
3位	江ノ島バナナボーイズ	ドラゴン No.1 (アガペ壱番館)

ステージ発表

開催日：令和1年11月16日（土） 場所：藤沢市太陽の家体育館

令和最初の身体障害者施設協会ステージ発表が、藤沢市太陽の家体育館で開催されました。今年のテーマは「一音入魂 みんなの声をどこまでも」と題して行われました。各施設の皆さんが普段から練習された成果を垣間見ることができるステージでした。また、今年度は趣向を変えた発表が多くあり、足柄療護園のオリンピックをイメージされた発表や湘南希望の郷

と湘南希望の郷ケアセンターによる歌劇等、今後のステージ発表の新たな流れを感じました。

※今年も文化委員によるお楽しみステージで「パプリカ」が熱唱されました。

文化委員会委員長 湘南希望の郷 小田嶋 悟



足柄療護園	ナイスおもてなし グッドステージ show!
よこはまりバーサイド泉	仲よしワンチームオリジナルダンス show!
水平線	唄う力に大好きソング show!
シャローム浦上台	努力がたぐ海と空のキラキラメロディー show!
アガペ壱番館	満点チャレンジ 星三つで show!
ソーレ平塚	皆なの糸で織りなす 幸せのハーモニー show!
丹沢レジデンシャルホーム	秋の宝箱 ミュージック show!
湘南希望の郷、湘南希望の郷ケアセンター	心に咲くあったかスマイル show!



アガペ壱番館



丹沢レジデンシャルホーム

卓上競技大会

開催日：令和1年11月30日（土） 場所：藤沢市太陽の家体育館

第52回卓上競技大会が開催されました。

当日は天候も良く、選手104名、付き添いや応援の方を含めると200名以上の方が集まり、熱戦が繰り広げられました。真剣勝負を囲んで観戦する方も多くいました。

試合結果は右表の通りです。来年も皆さまのご参加をお待ちしております。(スペースの都合で個人は優勝者のみの紹介となります。ご容赦ください。)

卓上競技大会実行委員会 水平線 矢澤 公作



第52回 神奈川県身体障害施設対抗 卓上競技大会 成績表

囲碁の部	優勝	加藤 保富さん (アガペセンター)
連珠の部	優勝	郡司 和徳さん (丹沢レジデンシャルホーム)
将棋の部	優勝	森田 孝一さん (パステルパレット)
はさみ将棋の部	優勝	西澤 敦志さん (湘南希望の郷)
オセロの部	優勝	福留 芳郎さん (貴峯荘 湘南の丘)
オセロの部 (ダブルス)	優勝	杉原 修一さん (貴峯荘) 羽藤 比奈子さん
団体の部	優勝	丹沢レジデンシャルホーム (48点)
	準優勝	貴峯荘 (38点)
	3位	アガペセンター (35点)



各種大会結果報告

作品展示・販売

開催日：令和2年2月11日(火)～16日(日)

場所：ODAKYU湘南GATE 6F 藤沢市民ギャラリー第3展示室

第25回作品展示・販売～心に響く個性の輝き～の報告です。
今年度は、湘南の地で初となる展示が開催されました。
来場者には知人の紹介やSNS等を見て来場された方もおり、時代の変化も感じる会となりました。

〈アンケートよりご紹介〉

「形、色などにとらわれずに、やさしい心 楽しい心 一生懸命な心に、ふれて遠い昔の自分を思い出しました。皆さんありがとう」

※出展点総数232点、出展者数134人、来場者数217名

文化委員会委員長 湘南希望の郷 小田嶋 悟



良好な人間関係を築くには？ ～対人援助職に求められるバウンダリー～

研究研修委員会委員長 リエゾン笠間 小林 浩一

私たち研究研修委員会は、12月17日(火)15:00～17:30に大船にあるリエゾン笠間の地域交流棟にて、AIDERS 代表の山崎正徳様を講師にお招きして「バウンダリー」についての研修を行いました。

私たちは今年度、「介護職の離職率を下げるには何が必要か、続けるモチベーションになるものは何か」をテーマにして活動をしてきました。各事業所で介護の仕事長く続けている職員に仕事を続けるモチベーションについてインタビューを行うと、人間関係が大きく関係していることが分かりました。そこで、様々な企業で人間関係についての講演を行なっている山崎先生に講師をお願いするに至りました。

バウンダリー(境界線)とは、「私」と「あなた」は違う人間で違う価値観を持っているという人間関係の距離感を指します。

例えば、DV 被害を受けた際に「私にも暴力の原因がある」と考える人と「私が怒らせてしまうのではなくて相手が勝手に怒っているだけ」と考える人がいるとします。前者がバウンダリーを保てていない人で後者は保てている人の考え方です。

バウンダリーが保てていないと、自信や主体性の低さから支配したりさ

れたりする関係になる可能性があります。また、仕事の境界が分からなくなり、過剰に相手の世話をしてしまう共依存の関係になる可能性も考えられます。どちらも職員間のトラブルだけではなく、利用者さんへの虐待にも繋がる可能性があります。

山崎先生によるとバウンダリーを保つためには、『思考』と『感情』を分ける事が重要との事。ここで言う『思考』とは経験に基づいたもので、『感情』は自然と湧き出てくるものを指します。これらを一緒に考えてしまうと(「これぐらい当たり前だから我慢しよう」等)、思考で感情を抑えてしまい、処理しきれない感情がたまり衝動的な行動も起きやすくなるとの事です。

『思考』と『感情』のバランスを意識し、援助職が自分の感情を抑圧せずに扱えるようになると、利用者さんの気持ちを理解したより良い支援が出来るのではないかと山崎先生は話されました。

また、研修の中ではエゴグラムを用いて自分の傾向と注意すべき点も教えて頂き、有意義な研修となりました。



Tsubuyaki Corner 広報委員のつぶやきコーナー



ビビデバビデブー

One for all, All for one. 一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために。一人ひとりの小さな努力が集まって、小さくても力強い花が咲くといいなあ。

自分一人じゃなんにもできないなと強く感じた一年でした。



福祉戦士3年生

三年目になり、物事をみる視野が広がった気はしますが、勉強の日々であることは変わりません。これからも精進してまいります！！



昭平令3時代世代

令和の時代になり世の中4Gから5Gへの流れのようにものすごいスピードで変化してゆくようですが、福祉業界も変化してゆくことでしょうか。昭和世代の私は流れについて行けるか心配です・・・



F.Tuppin

社会人三年目。いろんな仕事を任せられ大変な一年でした。でも周りの人達に支えられ乗り切ることができ皆で助け合えば何とかなる！今年もONE TEAM!な1年でした！